

中央大学リーガル・キャリア・サポート委員会主催
企業法務説明会（2015年2月2日開催）

旭硝子株式会社

中央大学法科大学院では、リーガル・キャリア・サポート委員会を組織し、在学生・修了生のみなさんに対して進路決定・就職に関するサポートを行っています。

今回は、「企業法務説明会」として、企業内法務の業務内容および魅力等について、旭硝子株式会社法務室から3名のご担当者にお越しいただき、企業法務について旭硝子株式会社の事例を中心に説明いただきました。

はじめに旭硝子株式会社の会社紹介がありました。

三菱グループの素材メーカーである旭硝子株式会社は、明治時代にわが国初の板ガラス製造を行った、いわゆるベンチャー企業をルーツとしております。なお、創業当時のわが国においては、板ガラス製造の成功事例が殆どなかったため、そのリスクから、三菱の名を汚さぬよう「三菱」を冠しない社名にしたといわれています。



現在は、自動車ガラスをはじめ、数々の世界トップシェアを有する素材メーカーとして、世界中に拠点を置き、グローバルに展開しているわが国屈指の大企業ですが、その設立経緯から、少数採用、少数精鋭主義を重視しており、それであるが故、同期の絆が強く、また、海外留学制度など、個々をレベルアップするための各種制度が充実しているといった特徴があるとのことでした。

つづいて、企業法務の業務内容および仕事の魅力について説明がありました。

企業法務の業務内容としては、M&A、商事法務またはコンプライアンス関連などといった経営陣と一緒に問題解決を図る業務が多く、そのため、これらを通じて経営判断を間近に感じることができ、それが法務担当者としてのやりがい・魅力ともなっているとのことでした。

そして、旭硝子株式会社においては、総勢40名の法務担当者が、法務室の他、社内の各カンパニーおよび海外部門にバランス良く配置されており、これらへの異動を通じて多様な経験の機会が与えられています。さらに、人材育成の点では、法務室からも、ほぼ毎年1名が社費で海外留学するなど、グローバルで活躍できる力を身につける環境も整備されているとのことでした。

30分ほどの説明後、全体をグループに分け、各グループに法務室の担当者が入り、座談会形式で質問相談を受け付ける時間を設け、絶え間なく質問や意見が飛び交いました。

参加後のアンケートでの満足度は高く、「旭硝子株式会社の情報だけでなく、インハウスについての理解が深まった」、「企業法務への興味が湧いた」、「座談会形式なので質問しやすかった」などの意見がありました。



リーガル・キャリア・サポート委員会では、今後も講演会等のイベントを実施していきます。在学生または修了生のみなさん、積極的にご参加ください。